

施策評価管理シート

施策体系	政 策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	2017(平成29)年6月作成	
	基本施策	1	良好な地域環境づくり	担当部局名	部局長名
	施 策	1	環境保全	地域環境部	田中 明子

1. 施策の基本方針 Plan

○ 地球温暖化等の環境問題を踏まえ、環境への負荷が少ない持続可能な低炭素社会の構築を目指し、省資源・省エネルギー、廃棄物の減量・再資源化の取組を進め、人と自然が共生する潤いのあるまちづくりに努めます。

○ 「第三次なばり快適環境プラン」に基づき、市民の環境保全意識の醸成に努めるとともに、市民・事業者・行政の3主体がそれぞれの役割を果たすとともに3主体が協働して、環境保全に積極的に取り組みます。

○ 清掃活動等の美化運動を市民ぐるみで展開するなど、身近な環境美化意識を醸成するとともに、ごみのポイ捨て防止などマナーやモラルの向上、不法投棄防止対策に取り組み、清潔で美しいまちづくりを目指します。

2. 現状と課題 Plan

○ 清掃活動や自然保護活動により、名張市の環境が良くなっていると感じる市民の割合が横ばい状況であり、市民や事業者へさらなる啓発を行い、活動を促進していく必要があります。

○ 美化活動への参加者の高齢化が進む中、活動を継続・拡大していくために、若年層への参加を促していく必要があります。

○ 不法投棄やポイ捨ての防止等、マナー向上の啓発をさらに進める必要があります。

○ 施策指標（目標）及び達成状況 Plan Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
清掃活動や自然保護活動により、名張市の環境が良くなっていると感じる市民の割合（%）	目標	-	-	-	70.0	
	成果	66.2	69.9			97.4%
環境教育の推進（回）	目標	-	-	-	15	
	成果	8	10			28.6%
地域づくり組織や市民公益活動団体等と協働で行う美化活動の参加者数（人）	目標	-	-	-	10,000	
	成果	6,749	7,393			19.8%

3. 課題解決への取組内容（平成28年度） Plan Do

計 画	実績及び主な成果
<ul style="list-style-type: none"> 活動場所の所管（機関）との更なる連携により、環境美化活動の充実を図ります。 公害防止協定の早期の見直しや市民・事業者に対する啓発の充実により環境負荷の抑制に向けた取組を進めます。 学校や地域、事業者による自主的な環境学習会の取組を促し、あわせて支援体制の充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 名張クリーン大作戦は、伊勢志摩サミット「おもてなし大作戦」の一環として実施されたこともあり、例年よりも多くの団体と連携をとることが出来、参加者数の増大にもつながりました。 市民からの騒音等の相談の対象となった事業者に対しては、相談内容を伝え、法令の基準値遵守はもちろんのこと、基準値の範囲内であっても、周囲の生活環境に負荷を与えないように啓発しました。 環境学習について、例年の小中学校長会で説明を行い、各小学校への文書を送付したことで、10校より要請がありました。看護学校においては、今年度より三重県地球温暖化防止活動推進センターから講師を招き、充実した環境学習を実施することができました。

4. 成果を踏まえた課題や現状 Check

・伊勢志摩サミット「おもてなし大作戦」の一環として実施した名張クリーン大作戦に参加していただいた方が、引き続き、清掃活動に関心を持ち、今後の参加・周囲への拡大へ繋げていけるよう、啓発していくことが課題です。

・公害防止協定の見直しは、事業者との日程調整が困難なこともあり、停滞気味です。

・環境学習について回数・内容共にさらに充実を図ります。

5. 課題解決への取組内容（平成29年度） Action

・名張クリーン大作戦をはじめとする地域の清掃活動をさらに促進できるよう、実施に関する相談に応じ、イベントや窓口において啓発を進めます。

・公害防止協定については、引き続き、事業者とコンタクトをとり、見直しを進めていきます。

・環境学習について回数・内容共にさらに充実を図ります。

6. 行政評価委員会による総合評価 Check

引き続き、市民の環境保全の意識を高めるとともに、地域づくり組織や市民公益活動団体等と協働し、美化活動の取組を進めること。